

第679回番組審議会報告

2023年6月6日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、川瀬慈委員、木戸哲委員、
小島幸保委員、津村記久子委員、増山実委員、安田真奈委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井取締役、北野取締役、中野取締役、
奥田報道情報局長、小野報道センター担当部長、西岡主事、
柴田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

「NEWS DIG」について

【概要】

「NEWS DIG」は2022年4月にJNNが協力して立ち上げたウェブサイト。MBSをはじめとするJNN系列28局のニュースをまとめて読むことができる。「NEWS DIG」の現状と今年スタートしたテレビ番組「MBS NEWS DIG」について報告した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- *NEWS DIGはJNN系列28局のニュースを一つのかたまりにして発信する、各地のニュースを日本中に届けるという意味で社会的にもすごく意義深いと思う。立ち上げてすぐ1億PVに届いたのは本当にすごいことだ。
- *スマホで情報を取得することが当たり前になっている今日、映像でニュースを確認できるのはすごく可能性のある試みで、新たなテレビの形じゃないかと思う。
- *地方を軸にしたニュースを見ることができるのは秀逸。
- *巨大プラットフォームがニュース市場を独占するのはよくないので、選択肢が広がる取り組みとしてすごく応援したい。

*アプリやサイトで見られれば見られるほどテレビ離れが加速してしまうんじゃないか。ウェブ配信やネットニュースが増えて、地上波のテレビのニュース番組がどんどん減っていくことに関してどうなのかと思う。

*それぞれのニュースに「参考になる」「もっと知りたい」「学びがある」というボタンがあるが、NEWS DIGという枠組みの中で様々な声をどう生かしていくのか。一方的に配信するだけじゃなく、ユーザーの声にどう対峙するかというセンスが問われてくると思う。

*土曜の早朝の放送を見た人が、どれだけこのアプリに関してダウンロードするのか疑問に感じる。地上波のニュース番組を求めている人に対してアプリにたどり着かせるのは、なかなか容易ではない。そもそも人が入ってこない入口でやってもあまり効果がないのではないか。

*NEWS DIGのユーザーで、若い人はどのぐらいいるのか。結局、テレビを見ている高齢者がウェブに來ただけで、若い世代が報道という素材に触れなかったら先細っていくのではないか。

*殺人や虐待などのニュースを省いた親子で見やすいニュースの総集編があればいいと思った。

*10年前や20年前など過去のニュースがあると、昔のニュースを調べたい時に便利だと思う。

*若い世代がニュースをあまり見ないのは、背景がそもそもわからないためだと思う。若者がニュースにアクセスしやすい「1分でわかる○○」などのコンテンツがあると興味が持てるのではないか。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

*ウェブはテレビと違い取材したものを比較的大きなかたまりとして流すことができる。テレビニュースの解説をウェブで見るなど地上波の限られた時間をさらにウェブで展開して相乗効果が生まれることがテレビとウェブの理想の形ではないかと思う。

*ニュースについてはこれまでもツイッター、YouTube、LINEなどで展開していて、テレビ番組制作はさらに入口を1つ増やしたと考える。

*ウェブの場合ページが大きいので、凄惨な事件がないゾーンとリアルなニュースのゾーン両方作ることはできるのではないかと思うので、ご意見を参考にさせていただきたい。

以 上